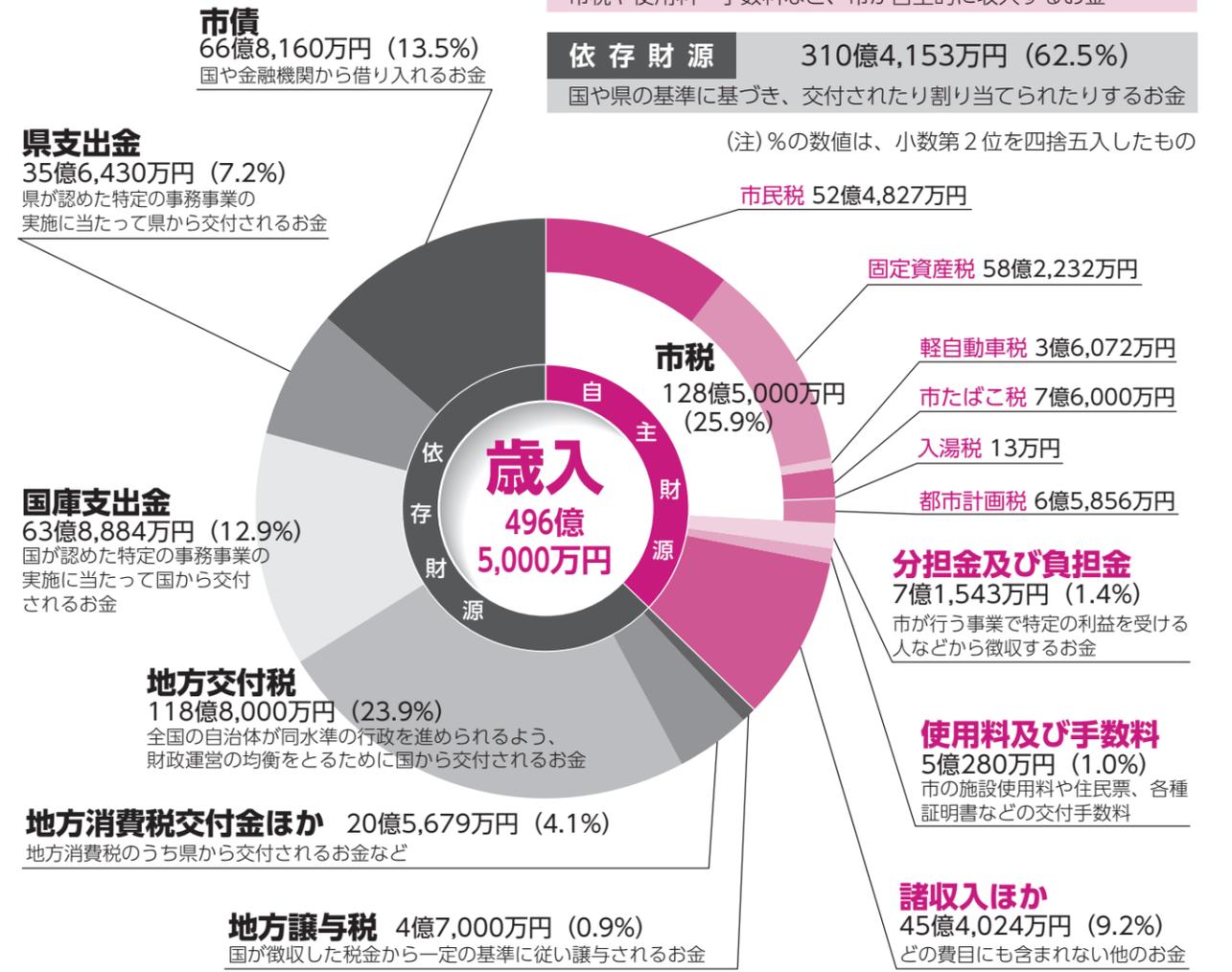
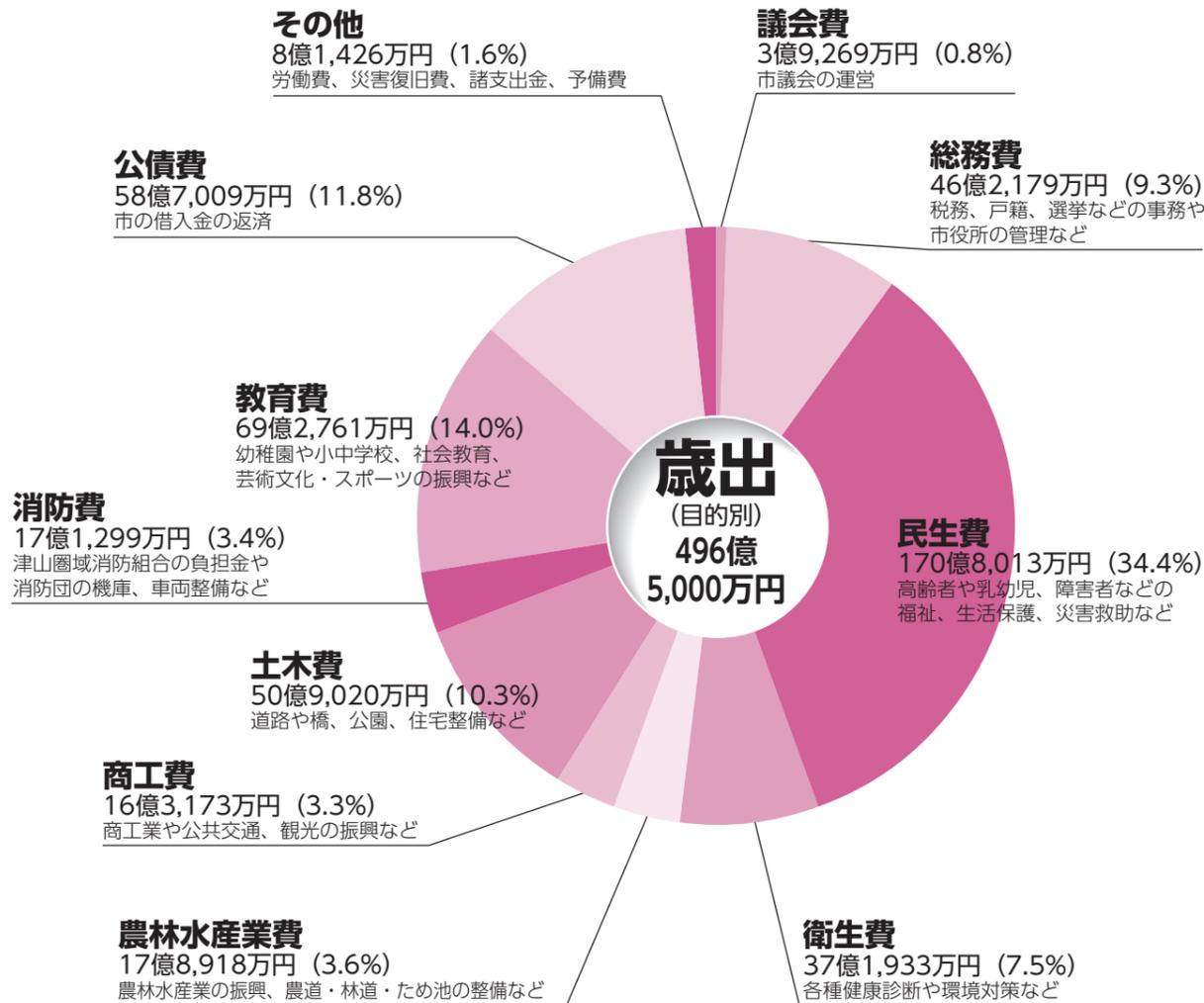


# 平成29年度当初予算の概要をお知らせします

圖財政課(市役所6階) ☎32-2020

## 一般会計当初予算



**自主財源** 186億847万円 (37.5%)  
市税や使用料・手数料など、市が自主的に収入するお金

**依存財源** 310億4,153万円 (62.5%)  
国や県の基準に基づき、交付されたり割り当てられたりするお金

(注) %の数値は、小数第2位を四捨五入したもの

区分	予算額	構成比
人件費	73億 389万円	14.7%
物件費	64億5,682万円	13.0%
維持補修費	2億2,675万円	0.5%
扶助費	105億6,366万円	21.3%
補助費等	61億8,918万円	12.5%
普通建設事業費	72億 592万円	14.5%
公債費	58億6,796万円	11.8%
繰出金	52億2,672万円	10.5%
その他	6億 910万円	1.2%
<b>歳出合計</b>	<b>496億5,000万円</b>	<b>100.0%</b>

**歳出のポイント(性質別)**

- 扶助費は、中学校卒業まで完全無償化した子ども医療費や、民間教育・保育施設運営費の増などにより、1億3千万円(1・3%)の増
- 物件費は、ごみ焼却施設の解体撤去事業や、学校ICT環境整備事業の増などにより、9億2千万円(16・7%)の増
- 普通建設事業費は、津山駅周辺整備事業の減や、小・中学校施設整備事業の平成28年度への前倒し予算計上による減などにより、7億8千万円(9・7%)の減

**歳入のポイント**

- 市税は、固定資産税(家屋・償却分)の増などにより、1億4千万円(1・1%)の増
- 地方交付税は、合併特例期間の終了に伴う段階的な減額などにより、5億円(4・0%)の減
- 市債(市の借入金)は、小・中学校施設整備事業の平成28年度への前倒し予算計上による減や、津山城下町歴史館整備事業の完了による減などにより、9億4千万円(12・3%)の減

平成29年度当初予算は、昨年度から始まった第5次総合計画に掲げた開花プログラムの着実に実施していくため、事業を徹底して見直すなど、限られた財源の中で重点化に努め、基金の活用も図りながら予算編成を行っています。

特に「津山市まち・ひと・しごと創生総合戦略」、「子ども子育て支援対策」、「地域産業の活性化対策」の充実とともに、平成28年5月に行った「定住自立圏構想に関する中心市宣言」による他町との連携事業など、重点的な予算配分を行っています。

### 当初予算の特徴